

## 信州クラーク高等学院について

(認可事項) 私立専修学校の設置 (1次審査)

- 1 目的 教育基本法及び学校教育法の規程に基づき、高等学校適齢期にふさわしい基礎的な知識と情報処理能力養成のための高等教育、さらには将来、情報化社会で活躍できる商業実務能力習得の基礎教育を行い、あわせて職業訓練の基礎能力養成及び人格形成に必要な教育を行うことを目的とする。
- 2 名称 信州クラーク高等学院
- 3 位置 上田市中央西一丁目14番31号
- 4 開設の時期 令和7年(2025年)4月1日
- 5 設置者 長野県佐久市常田字東池下77-1  
社会福祉法人 山栄会  
設立代表者 山崎 俊比古
- 6 校長 大橋 英夫 ( 歳)
- 住所
- 略歴 昭和45年 3月 関西大学文学部史学科 卒業  
昭和45年 4月 (株)神戸教育研究センター (現 (株)創造学園) 入社  
平成 7年 3月 学校法人国際情報学園 (現 学校法人創志学園) 理事就任  
平成12年 2月 学校法人奈良立正芸術学院 理事・評議員就任

## 7 学校概要

## (1) 課程等

昼夜別	分野・課程	設置学科	修業年限	入学定員	収容定員
昼間部	商業実務高等課程	総合学科	3年	40人	120人

(参考) 生徒等の数の見込

	1年	2年	3年	合計
令和7年度				
令和8年度				
令和9年度				

## (2) 教職員組織

職種	校長	教員	職員	
			うち専任	
計画	1	13	4	2
基準	4		3	-

(設置基準) 商業実務専門課程: 4 (生徒総定員120人の場合)

専任教員数: 教員の半数以上 (ただし、3人を下ることはできない)

- (3) 校 地 校舎敷地 421.02㎡  
 (4) 校 舎 校舎面積 1,039.98㎡ (基準面積 400㎡)  
 構造 鉄筋コンクリート(RC)造 地上4階建

(設置基準) 商業専門課程 :  $200 \text{ m}^2 + 2.5 \text{ m}^2 \times (120 \text{ 人} - 40 \text{ 人}) = 400 \text{ m}^2$

## 8 開設費

### (1) 学校設置に要する経費

科 目	金 額 (千円)	備 考
校地 (校舎敷地)		
校舎		
教具、校具、設備		
その他の支出		
合 計		

### (2) 財源の調達方法

自己資金 千円

## 9 経費及び維持方法

授業料、入学金及びその他納付金等を財源として維持運営する。  
 ただし、収入不足を生じた時は設置者においてこれを補う。

## 10 授業料等 (初年度納付金)

区分	総合学科
授業料	600,000円
入学金	60,000円
入学検定料	10,000円
施設維持費	150,000円
実習費	60,000円
合計	880,000円

11 収支計画

(1) 令和7年度収支予算

区分	科目	金額 (千円)	積算根拠
収入	入学金		単価×第1学年定員
	授業料		〃
	施設設備資金収入		〃
	実習費収入		〃
	入学検定料収入		単価×受験者数
収入計			
支出	人件費等		学校長1名、基幹教員4名、非常勤職員9名、事務職員2名
	教育研究費		委託費及び諸謝金（講演会・特別授業等）、教材費等
	管理経費		消耗品等
	施設設備関係支出		
支出計			
収支差額			

(2) 令和8年度収支予算

区分	科目	金額 (千円)	積算根拠
収入	入学金		単価×第1学年定員
	授業料		単価×定員（2学年分）
	施設整備資金収入		〃
	実習費収入		〃
	入学検定料収入		単価×受験者数
収入計			
支出	人件費等		学校長1名、基幹教員4名、非常勤職員9名、事務職員2名
	教育研究費		委託費及び諸謝金（講演会・特別授業等）、教材費等
	管理経費		消耗品等
	施設設備関係支出		
支出計			
収支差額			

12 施設を自己所有している場合における資金要件

開設年度の経常経費の2分の1に相当する資金を保有していること。

開設年度の経常的経費 (A)	開設時に保有が必要な現預金 ( $B=A \times 1/2$ )	自己資金 (C)
千円	千円 <	千円